



## 住まい手クラブ 春の住まい展でデビュー!

食べ物が営利目的の商品とされることもあれば、つくる人と食べる人をつなぐ「消費材」にもなるように、住宅も、営利目的のものもあれば、住まい手とつくり手の協同からうまれる「生活のうつわ」にもなります。

住まいは文化であり、住まい手たち自身のものです。コマーシャルのイメージを受け取るままではなく、住まい手同士が、「こんな家がいいね」とか「こんな風に住んでるよ」という情報を楽しくやり取りしながら、時にはお家を訪問したり、お庭で育った果物をおすそ分けしたり、建築士の話の聞いたり、など活動していくことを目指して、「住まい手クラブ」が設立されることになりました。

### ★ 設立メンバーは5名 ★



川崎市麻生区の林恵美さんは、オルタスクエアへの新築設計依頼のときから、我が家を地域コミュニティの拠点にしたいと思っていました。現在、着々と準備進行中。集う人も増えてきました。

高津区の佐野めぐみさんは、ハウスメーカーでお家を建て替えたのですが、組合員が集まって珪藻土壁塗りDIYを開催しました。お庭には「きばる」の甘夏の種から芽生えた若木がすくすく育っています。

相模原市の神近恭子さんもオルタスクエア新築のお施主さんで、とても力強いオルタスクエアの味方です。相武台デポーのワーカーですが、デポー組合員からお家を見せてほしいと頼まれ、担当設計士を招いてのミニ学習会を開催していただきました。

横浜市鶴見区の藤原知子さんは、一枚の風呂敷を様々な使いこなす日本文化をみなに伝えたいと思っているフォーラム・アソシエ登録講師。現在、旧キッチンをお嬢さんの居室にするためのリフォーム工事の最中です。

この多彩なメンバーをまとめる代表が、横須賀市の木下青子さん。オルタの大型リフォームのお施主さんでもあります。春の住まい展にはご主人に来ていただき、漆喰DIY技術を習得してもらう予定です。



＊ 2階ベランダの折りたたみテーブル（なんとDIY！）に小さなお花を飾る神近さん



＊ 花粉の時期にリフォーム工事がスタートした藤原さん。左は大工の勝俣さん



＊ 「こまかいことは決めず、楽しくやっていきましょう」と話す左から 林さん、佐野さん、木下さん



みな多忙な人々ですが、この「住まい手クラブ」は、ゆるゆると、お家訪問も二ヶ月に一回くらいのゆっくりペースで進める予定です。